

2015 Spring Exhibition Chanoyu Depicted in Nishiki-e Woodblock Prints

— Centering on Meiji Era Works in the Konnichian Library Collection —

April 18 (Sat) – June 18 (Thu)

Term I: April 18 (Sat) – May 17 (Sun) Term II: May 21 (Thu) – June 18 (Thu)

明治時代の錦絵には、女性が茶道をたしなむ様子を描いたものが数多くあります。錦絵ならではの多彩な色使いで、当時の風俗が鮮やかに描き出されています。これらの錦絵は同時代の茶道の様子を知ることができる貴重な資料の一つといえるでしょう。茶道が女性に広く親しまれるようになったのは、明治時代以降と言われています。「女礼式」という女性が身に付けるべき礼法の一つとして、茶道が認識されるようになったためです。当時多数発行された女礼式の解説書の中には「茶道」を一つの項目として取り上げ、説明をするものもあり、また、授業として茶道を取り入れる学校もありました。裏千家十三代圓能斎鉄中(えんのうさいてっちゅう、1872-1924)の時代にあたります。

これまで、今日庵文庫所蔵の錦絵は一部が紹介されたことはあるものの、大半は未公開でした。本展では、その知られざる錦絵を一堂に集め、ご紹介いたします。また、併設展として、明治時代、茶道の普及に尽力した裏千家十三代圓能斎鉄中に焦点を絞り、自作・好み物などの茶道具や書画を展示いたします。

錦絵に描かれる茶の世界と、同時代に使われた茶道具や書画の世界をあわせてお楽しみください。



「真美人」楊洲周延画 明治30年
前期展示



「女礼式之図」安達吟光画 明治20年 全期間展示



「三十六佳撰 茶の湯 宝永頃婦人」
水野年方画 明治26年 後期展示



「茶の湯日々草 初座迎ひの図」水野年方画 明治29年 全期間展示

〈主な出品作品〉※期間中展示替えがあります。

- 「東都旧跡尽 神田於玉が池の故事」歌川広重画 江戸時代
- 「新よし原 角町 中万字屋 楼上浜村屋敷の図」豊原国周画 慶応2年
- 「中古倭風俗 幕府之姫君茶湯花月の図」歌川国貞(三代)画 明治22年
- 「幻燈写心鏡 茶の湯」楊洲周延画 明治23年
- 「当世風俗通 茶乃湯」宮川春汀画 明治32年
- 「茶の湯日々草」(全15図) 水野年方画 明治29年

錦絵(にしきえ)って？

木版多色摺の浮世絵版画のことです。江戸時代、墨一色から始まった浮世絵版画は、紅と緑を主とする紅摺絵(べにずりえ)を経て、多色摺りの「錦絵」となり、美人画、役者絵、風景画など様々な画題が表現されるようになります。明治時代の錦絵は、19世紀初頭から舶来しはじめた外来染料の使用が広まり、鮮やかな青や赤、紫などの色が特徴的です。

今日庵文庫って？

茶の湯の専門図書館です。図書(貴重書を除く)・DVDは一般の方でも閲覧・視聴が可能です。茶道に関する美術工芸・歴史・建築・料理等の図書のほか、江戸時代の茶書や雑誌、図録、映像資料など約6万点を収蔵しています。

*開館時間=平日…午前10時～午後4時

土曜…午前10時～午後3時

*休館日=日曜、祝日、第2・第4土曜、年末年始

※場合によって臨時休館することがあります。

*入館料=無料

*電話=075-431-3434

【第43回茶道資料館コンサート】

渡邊 穰(ヴァイオリン)・呉山平煥(オーボエ)・佐藤 響(チェロ)

5月22日(金)開場午後6時・開演午後6時30分(約40分)

申込先着100名



交通案内

- 市バス JR京都駅より⑨ 阪急大宮駅→四条堀川より⑨⑩ いずれも堀川寺ノ内下車、徒歩2分
- 京阪出町柳駅より⑩、堀川今出川下車 堀川通東側を北へ徒歩10分
- 地下鉄 烏丸線鞍馬口駅下車、西へ徒歩15分 東西線二条城前駅より市バス⑨⑩ 堀川寺ノ内下車、徒歩2分